南同教総会開かれる

同和教育の中心的存在であり、幅広い活動を展開している『南国市同和教育研究協議会』（＝南同教、森本智会長）の第十九回総会が五月二十八日、大篠地区公民館で開かれました。

この日は約九十名が出席、まず森本会長は『同和地区のない地域の同和問題に対する取り組みの低さを認識し、同和教育の格差を縮めていくためにはどうしたらよいかを考えながら、部落の現実に学ぼう。交流、研修を深める意味で、南同教の組織の充実をはかろう』とあいさつ。

来賓の谷内照義県同和教育研究協議会々長は『解放教育の発祥の地である南国市は、解放教育のメッカであってほしい』と祝辞。

つづいて、昭和五十五年度の活動報告、決算報告を承認したあと、『▼専任事務局を設置し、市民の期待にこたえる組織にする。▼同和教育主任の全校（幼・保・小・中・高）への配置を要求する。▼〝解放教育振興法〟の制定の実現をめざす。▼就学前教育の充実など、発達段階に応じた一貫性のある教育を進める。▼同対審答申、特別措置法を全市民の課題として発展させる。▼研究協力校を設定し、同和教育の研究指導の実践に学ぶ。▼南同教の会員の拡大をはかる。特に行政職員、ＰＴＡ、企業、農協などへ働きかける。』などを盛り込んだ〝五十六年度活動方針案〟を採択、会長に田内稔治氏（教育委員）ら、新役員を選任して閉会しました。

※南同教では、五十六年度の会員を募集しています。多くの方のご加入をおすすめします。

申し込み先…教育委員会同和教育指導係（☎③２１１１内線３２９）へ。

話題を掘る(4)

県内唯一!?
殿さまの鹿狩用絵図面

藩政時代に〝殿さま〟が狩猟を楽しんだ伝承地は、市内瓶岩にもあるが、岡豊町小蓮・和田知久さん宅には鹿狩作戦の（絵図面）が保存されている。

元治元年（一八六四）三月、郷士で同家当主・九兵衛＝藩の給料・二人扶持＝という人が、藩から猟場の設定や幕開い、勢子（せこ）集めなどのさい配を命じられて、まず猟場を選び絵図面にしたもので、場所は今の高知市西部荒倉の山間部。

絵図は和紙（横一一七㌢、縦一七・五㌢）に描かれており、くすんだ緑と黄土色をおもに使い、朱で書いた小さい道は、どうやら猟の中心的行動ルートらしく、地形地物がかなりわかりやすい立体図形式で描かれている。絵図に「鏡岩」と記されるものは現存しているそう。

殿さまの狩猟を文字で伝える資料はあっても（絵図）がある話はなく、この絵図が今のところ県内唯一らしい。となると、郷土史料としての価値がきわめて高い。

さらに関係記録に、毎年猟がすむと殿さまから扇子（せんす）、酒などのほうびをもらったとある。

なお、この地方を通る参勤交替の行列が携行する荷物類の輸送や宿舎の世話は、元禄年間から同家の歴代当主がさい配した。

（完）

▽家にある古い文書や器物などが廃品のように見えても、改めてじっくり見ることにしてほしい。

「話題を掘る(1)」の教員給料受取証は、ふすまの下張りで、主婦の注意がなかったら焼かれていただろう。

こうした古いものは、その時代のあるいはかかわった人の証（あかし）である。歴史や民俗資料は、きょうよりはあす――と時が加わるにつれ重みが増す、と心しよう。

南国市文化財審議委員　三谷勇喜

土曜市雑感

南国市土曜市組合は、南国市制施行十周年を記念して、昭和四十四年十月に発足した〝市（いち）〟である。この五月二十三日（土）には組合員一人ひとりの特徴を出し合った「さつき・食品祭り」を行った。会場は「天下後免の土曜市」の歌とともに、大勢の買物客でにぎわった。売り買う人の土佐なまりがほほえましい。

私は、土曜市は道場のようだと時々思う。

サツキの無料コーナーでは、いつとはなしに列ができた。丹精こめて作りあげた種々の苗木を、一人ひとりに配る……日頃の感謝をこめて笑顔で。〝ありがとう〟という、お客さんのサツキを手にした姿が、今でも目に浮かぶ。

出店者が買物客に「ご縁がありますように」と五円玉を手渡す変ったサービス……小さな真心が反響を呼んだ。会話が生まれる。

「どうして五円玉をくれるがぞね。」「おまさんと、これからもぎっちりご縁があるようにと思うてよね。」「あっ、そうか、そうか、おおきに。」会場のあちこちで、さわやかに一日中〝ご縁ご縁〟の声がしていた。さらに、ご縁の皿も配った。サツキの展示、よもぎのもちつき……会場いっぱいの催しの中、招待した子供たちとお年寄りたちが、にこにこ顔でやってきた。真夏のような、暑い一日だったが、子供たちは金魚すくいに必死。やがて、つきたてのおもちを渡すと、年若い先生と不自由な身体を震わせながら食べあっている姿には、みんなが感動した。

夕方近くになると、目のまわる忙がしさに、組合員の顔には、疲れが見える。

サツキと人間、物と心、先生と子供、組合（土曜市）と組合員、〝一心同体〟という言葉が一番ふさわしい催しだったと心から思った。

みんなが一致団結した〝土曜市組合〟は、市民とともに歩む。

奉仕の精神をモットーに、さわやかに商売根性を出しながら……。

心休まる〝市（いち）〟として、これから先何十年も何百年も続くよう、みんなでがんばっていこうと考えている……。

南国市土曜市組合
理事長　中村朋子

医療相談コーナー Q&A

A 六十四歳の男性です。最近少し激しく動くと、あまり長くは続かないですが、急に胸が圧迫されるような痛みを感じます。心臓の病気ではないかと心配しています。日常注意する点を教えて下さい。

B 症状からは〝労作狭心症〟と思われます。狭心症は心臓部が狭くなるように感じるのでその名がつけられたようです。

―原因―

その原因は、心臓に血液を送る冠状動脈という血管の動脈硬化が基礎にあり、比較的激しい運動をすると動脈硬化のために心臓の筋肉に十分血液を送ることが出来なく、その結果、酸素不足になり、

〝狭心症〟

心臓の痛みが起こると考えられています。

―症状―

狭心症は次のような症状で、非常に特徴的ですので自分でもほぼ診断できます。

①前胸部が②突然に③痛くなり④その持続時間は短かく⑤労作により誘発される

労作狭心症の診断は症状だけで下されますが、診断する医師は、症状がよく似ている肋間（ろっかん）神経痛とか肺の病気ではないかどうかを見分けたり、またその患者さんが同時に高血圧とか心臓弁膜症などではないかどうかを調べます。

狭心症の基礎になる病気があれば、それを治さなければ狭心症がおさまらないからです。

―治療―

さて、狭心症の診断が確定的になったとしますと、次には治療が必要です。

治療は①胸痛発作の起こらない為の予防と②胸痛発作のある時の治療とに大別できると思われます。

①胸痛発作を起こさない為の予防

(イ)まず、心の平和が大切

いらいらしながら急いで用事をしたりすると、そのいらいらだけで〝カテコールアミン〟というホルモンが体より出て、狭心症を起こします。その上に体を動かすので心臓の負担になり、さらに発作が起こりやすくなります。

できるだけストレスを避け、怒ったりせず、のん気に毎日を過ごす事が大切です。ただ薬を飲めば治るわけではなく、このことは非常に大事なことで、案外忘れがちになります。

(ロ)激しい運動、過労を避ける

運動の制限の程度は各人により異りますが、労作狭心症を経験した人は（例えば入浴中に起こるとか、階段を続けて二階まで登ると胸が痛くなるとか、どんな事をしたら発作が起こりやすいか自分で良く知っており、その事を避けることが必要です。

(ハ)薬による治療

最近、安全で非常に効果のある狭心症の薬が使われており、大抵の狭心症は予防できます。

②胸痛発作のある時の処置

胸痛が起これば、心臓に負担がかからないように座るか横たわり、ニトロールという錠剤を舌下に内服すると、数分で大抵の発作はおさまります。

もし胸痛が三十分以上続くようなら、心筋梗塞（しんきんこうそく）に進展していると考えなくてはなりません。

狭心症の治療は、胸痛という苦痛を治療・予防する為にも必要ですが、死亡率の高い心筋梗塞の予防の為にも大切な事です。

【南国市医師団　N医師】

6月1日号で、掲載しました医療相談コーナー〝みずむし〟の薬として、立田の葛目都恵さんより、アロエが良いとのお便りをいただきました。処置方法は、患部にアロエの汁をつけるか、アロエを開いて貼りつけ、石けんは使用しないようにとの事です。

お悩みの方は、一度試してはいかがですか。